

「一緒に死ぬつもりでした」85歳・認知症の夫を介護、追い込まれた83歳・妻の懺悔… 「老老介護」悲惨な実態

7/09 幻冬舎

厚生労働省から『国民生活基礎調査』2022年調査の結果が発表されました。家族構成をみていくと、時の流れと共に大きく変化していることがわかります。特に増えているのが「65歳以上の高齢者がいる家族」。そこには負担の大きな介護の問題も。みていきましょう。



65歳以上の高齢者は4,029万人…平均所得は年318万円

時代と共に家族のカタチは変わるもの。厚生労働省『2022年 国民生活基礎調査』によると、ひとり暮らしは1,785万世帯で、この20年で1.6倍に。同じく夫婦のみの世帯は1,333万世帯で1.4倍に。一方で、マンガ『サザエさん』のような3世代世帯は208万世帯で、20年前から60%弱、減りました。おじいちゃん、おばあちゃんと孫と一緒に住む家族のカタチは、圧倒的に少数派となっています。

一方で、高齢化の進展とともに急速に増えているのが、65歳以上の高齢者がいる家族で2,747万世帯で、全世帯の半数以上。さらに65歳以上の高齢者だけの高齢者世帯は1,693万世帯と、全世帯の3割以上を占めています。

65歳以上の高齢者は4,029万人。そのうちひとり暮らしは873万人と、全体の21.7%。2001年は317万人でしたから、この20年でいわゆる「独居老人」は2.7倍にも増えました。また未婚の子どもと同居する高齢者はこの20年で2倍に増えています。

【65歳以上の高齢者の家族形態】

- ひとり暮らし:873万世帯
- 夫婦のみ:1,638万世帯
- 子どもと同居:1,356万世帯
- (内訳)
 - ・子夫婦と同居:303万世帯
 - ・おひとり様の子と同居:1,053万世帯
- その他親族と同居:156万世帯
- 親族でもない人と同居:5万世帯

出所:厚生労働省『2022年 国民生活基礎調査』

そんな高齢者の懐事情をみていくと、高齢者世帯の平均総所得は318万円。そのうち公的年金は199万円でした。総所得のうち公的年金が100%を占める世帯は44.0%。80~100%と合わせると約6割と、年金が高齢者の生活においていかに重要なかを物語っています。

年金199万円ということは月16万円ほど。約6割の高齢者が、これだけのお金を拠り所に暮らしています。

高齢者が高齢者を介護する「老老介護」に体も心も限界

年を重ねていけば、支援や介護が必要になることも珍しくありません。同調査によると、高齢者世帯の61.5%で、要介護等者がいます。要介護になった要因で多いのが、要介護1～3では認知症、要介護4および5では脳卒中でした。

そんな介護が必要になった高齢者を介護するのは誰なのでしょう。主な介護者で最も多いのが「配偶者」で22.9%。次に多いのが「子ども」で16.2%。「事業者」15.7%、「別居の家族等」が11.8%、「子どもの配偶者」が5.4%となっています。

高齢化の進展とともに、さまざまな介護サービスが充実してきましたが、それでもメインに介護するのは家族というケースが多く、介護サービスを併用することも当然あるでしょうが、多かれ少なかれ、家族に負担がかかっています。

親の介護で気がかりなのが、まずはコスト。介護サービスを利用しているのはおよそ7割で、自己負担額は平均2万8,585円。介護度があがるにつれて当然コストはかさみ、要介護1、2では自己負担額2万円台だったのが、要介護3では4.6万円、要介護4では5.6万円、要介護5では7.5万円と増えていきます。高齢者世帯の平均年金額が月16万円ほどということからすると、年金だけで賄える金額。多くの場合、コストの心配はないようです。

ただ介護の現場でいま最大の懸念とっていいのが、老老介護。高齢者が高齢者を介護するというパターンです。

75歳以上の要介護者の主な介護者の年齢をみていくと、60歳以上が75.8%、65歳以上が61.2%、そして75歳以上が35.7%。この75歳以上の組み合わせは超老老介護といわれ、3割にもものぼっているのです。

介護を経験したことのある人なら分かるでしょうが、かなりの重労働。現役世代であってもそう感じるのだから、高齢者ならなおさらです。老老介護では、介護者が精神的にも身体的にも疲労。介護に追われる毎日、引きこもりがちとなり、社会から孤立。最悪、倒れてしまったり、事件に発展したりすることも。

2021年、東北地方で起きた老老介護殺人事件。要介護3、認知機能も低下した85歳の夫の介護をしていた83歳の妻。周囲に相談もできず、「一緒に死ぬつもりだった」と妻が夫を殺害してしまったという、なんとも悲しい事件は大きな注目を集めました。裁判で妻は「私がもっと頑張ればよかった」と語ったそうです。

高齢化、さらには長寿化で、介護に関する心配はさらに深刻さを増すでしょう。悲劇を生まないためにも周囲にサポートをお願いすること、また周囲も気にかけることが重要です。前述の事件では子どもたちがあまり親の介護に関与してなかったという事情もあります。

また介護サービスを積極的に利用するのもひとつの手。予算に合わせて利用できる老人ホームが増えているので、限界を迎える前に入居を検討するのもいいでしょう。

ただ介護サービスを利用するにしても、老人ホームに入居するにも、無料というわけにはいきません。**充実した老後をおくるためにも、何よりも大切なのが「お金」です。**老後なんて、介護なんて先の先、などと思わずに、現役世代は将来を見据えて早めに資産形成をスタートさせることが重要です。